

事業番号	09 03 05	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課	
		実施期間	T2 ~	E-mail	nogi @ pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

・人口減少・高齢化により農業・農村を支える基幹的農業従事者が大幅に減少（73千人（2015年）→56千人（2020年））していることから、意欲ある担い手の確保・育成が急務となっている。

・県農業大学校には一定数の県外出身者がおり（34.9%（2022年））、卒業生の県内定着率も高く（2022年度卒業生92%）、県農業を支える人材の呼び込み・育成に貢献していることから、本県農業の次代を担う人材育成機関として、引き続き人材の確保・育成に向けた継続的な取組が必要。

### 2 事業目的

・農業改良助長法に基づき、農業の専門的知識・技術及び人格を備えた農業経営者や指導者を養成することで、農業生産を維持する。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ① 県農業を支える人材の確保  
当初予算のとおり
- ② 実践的なカリキュラムの構築による農大生や農業者の指導・育成  
・最先端の技術に対応できる農業人材を育成するため、農業大学校にスマート農業技術を活用した研修用施設を整備（農学部）  
※その他の事業は当初予算のとおり
- ③ 関係機関と連携を強化した就農支援  
当初予算のとおり

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	農学部 卒業生の県内農業関係職への就職割合	%	93	92	↘	91	↘	95		県農業への貢献をみる指標として農業関係職（就農+農業関連団体・農業関係企業への就職）に就く農学部卒業生のうち、県内への就職割合を目標値として設定。直近の実績に基づいて95%を目標とする。	
②	研修部 大型特殊免許取得率	%	99	100	↗	100	→	95		研修部における農業者の実践的技術の向上を図るため、受講者の多い大型特殊免許の取得率を目標値として設定。直近の実績に基づいて95%を目標とする。	
③	農学部 卒業生就農率	%	53	55	↗	69	↗	67		事業の要となる農学部卒業直後の就農率を目標値として設定。農大改革の主要目標である「農学部卒業生の就農率向上」の目標値から67%を目標とする。	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	農業における中核的経営体数	経営体	2021 (R3)	10,044	2022 (R4)	10,061	2023 (R5)	10,288	2027 (R9)	10,700
2-3①	地域の建設業等における担い手の確保の推進	新規就農者数(49歳以下)	人/年	2021 (R3)	212	2022 (R4)	189	2023 (R5)	172	2027 (R9)	215
5-3①	高等教育の振興による地域の中核となる人材の育成										

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 (予算現額)		
R6年度	1,518	92,931	16,660	16,660	111,109	67,565	30.0
R5年度	4,029	72,990	1,518		78,537	42,596	30.0
R4年度	11,176	69,944	4,759		85,879	48,364	30.0

事業名	<b>農業大学校運営事業</b>	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
<b>1</b>	<b>農業大学校運営費</b>	50,553 千円	49,956 千円	予算現額 53,627 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業大学校運営費	直接	総合農学科の学生に対して、農業に関する知識と技術の修得を図るため、実践的な講義や実習を通じた教育を実施 総合農学科生80名を指導	

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
<b>2</b>	<b>実科・研究科費</b>	7,416 千円	9,052 千円	予算現額 8,922 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	実科・研究科費	直接	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、栽培技術の習得及び就農促進のため、農業関係試験場での実習を通じた教育を実施 実科・研究科生40名を指導	

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
<b>3</b>	<b>研修部費</b>	26,590 千円	16,993 千円	予算現額 15,150 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	研修部費	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就農者を確保・育成するため、里親前基礎研修や農業機械利用技能研修を実施</li> <li>・大型トラクター操作技能研修等の内容を充実するため、遠隔指導用無線装置を導入（R5年度からの繰越実施）</li> </ul> 農業機械利用技能研修を12回開催、遠隔無線装置を導入1式	

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
<b>4</b>	<b>農業大学校施設整備費</b>	1,320 千円	2,536 千円	予算現額 33,410 うち今回 16,660 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業大学校施設整備費	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実科・研究科生の学習環境を整えるため、教室に冷房設備を整備</li> <li>・最先端の技術に対応できる農業人材を育成するため、総合農学科にスマート農業技術に対応した研修施設を整備</li> </ul> 実科・研究科の教室の冷房設備設置（4か所） 総合農学科の実習ほ場に環境制御型パイプハウスを設置（1棟）	